

## 第 1 章 現金・当座取引

### 問題 1 - 2 ( 銀行勘定調整表 1 )

問 1      ランク : A      標準解答時間 : 6 分

決算時に次の事項が判明したので、必要な仕訳をしなさい。仕訳が不要なときは「仕訳なし」と記入すること。

- (1) 本日現金¥20,000 を取引銀行の当座預金口座に預け入れたが、銀行の営業時間終了後であったため、銀行では翌日の入金として処理していた。
- (2) 買掛金¥10,000 の支払いのために小切手を振り出したが、仕入先においては、いまだ銀行に未呈示(みていじ)であった(未取付小切手)。
- (3) 当社振出の小切手で、未決済のものが¥1,000 あった(未取付小切手)。
- (4) 売掛金¥30,000 の代金として得意先振出の小切手を受取り、銀行に持参したが、いまだ取立てがされていなかった(未取立小切手)。
- (5) 買掛金¥20,000 の支払いのために振り出した小切手が、仕入先に渡されていなかった(未渡小切手)。
- (6) 広告宣伝費¥50,000 の支払いのために小切手を振り出したが、広告会社にいまだ渡されていなかった(未渡小切手)。
- (7) 売掛金¥30,000 の代金が当座預金に入金されたことが、当社に未達であった。
- (8) 支払利息¥5,500 を小切手を振り出して支払ったとき、誤って¥5,000 と記帳していたことが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				

## 問 2

ランク：A

標準解答時間：4分

決算時に次の事項が判明したので、必要な仕訳をしなさい。仕訳が不要なときは「仕訳なし」と記入すること。

- (1) 得意先から売掛金の支払代金として得意先振出の小切手¥6,000を受取り、それについては既に会計処理がされていた。その後、この小切手を当店の取引銀行であるA銀行に取立てを依頼した取引処理がまだ行われていない。ただし、決算日現在までA銀行から取立済みの連絡は受けていない。
- (2) 当期中に回収した売掛金のうち、230千円を現金勘定に320千円と記帳し、しかも貸借反対に仕訳をしていたことが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

**問題 1 - 3** ( 銀行勘定調整表 2 )

問1 **ランク：A** **標準解答時間：6分**

当社において、取引銀行から送付された当座預金残高証明書（×1年3月31日現在）と当座預金勘定の期末残高を照らし合わせたところ、金額が一致していなかった。次の資料により、必要な仕訳と、銀行勘定調整表を作成しなさい。

なお、仕訳が不要な場合には、「仕訳なし」と記入し、銀行勘定調整表の摘要欄には取引の内容がわかることを簡潔に記入すること。また、決算日は3月31日である。

[資料 1]

銀行から送付された残高証明書残高            ¥ 215,000  
 当社の当座預金出納帳期末残高                ¥ 245,000

[資料 2] 不一致の原因を調査したところ、次の事項が判明した。

- (1) 仕入先千葉商店に対する買掛金代金支払いのため、振り出した小切手¥30,000が先方に未渡しであった。
- (2) 3月31日に現金¥20,000を取引銀行の当座預金口座に預け入れたが、銀行の営業時間終了後であったため、銀行では翌日（4月1日）の入金として処理していた。
- (3) 仕入先関東商店に対する支払手形¥50,000が決済され、当座預金口座から引き落とされていたが、銀行からの連絡が未達であった。
- (4) 仕入先埼玉商店に対する買掛金¥10,000の支払いのために振り出した小切手が、銀行に未呈示であった。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

銀行勘定調整表

摘要	金額	摘要	金額
当座預金出納帳の残高	(            )	残高証明書の残高	(            )
加算		加算	
(            )	(            )	(            )	(            )
減算		減算	
(            )	(            )	(            )	(            )
調整後残高	(            )	調整後残高	(            )